

甲南病院瓦版

コロナと肥満



外科・肥満外来
山本 寛 医師

コロナ禍、政府は「ワクチン接種こそ、コロナ対策の切り札である」と位置付けています。

皆さん、ワクチン接種はお済みでしょうか？

あくまで、ワクチン接種は任意であり、ワクチンそのものの副作用や副反応もありますが、トータルとして、メリットとデメリットを考えるとメリットが大きいのは間違いないと思われます。例えば、これまでワクチン接種をしてアナフィラキシーショックになった人など、人によってはメリットよりデメリットが大きい場合もあります。年齢制限はありますが、ほとんどの方はメリットの方が大きいと考えられています。

ところでワクチン接種開始時に、厚労省は「接種順位の上位に位置づける基礎疾患」あるいは「新型コロナウイルス感染症の重症化リスク因子」を公表しました。その中には、65歳以上の高齢者・慢性閉塞性肺疾患・慢性腎臓病・糖尿病・高血圧・心血管疾患・肥満(BMI 30以上)が含まれます。

肥満が重症化リスクとして挙げられている理由は、すでに疫学的に肥満者で死亡率が高いことがわかっているからです。なぜ、コロナ感染症で肥満者の死亡率が高いのでしょうか？肥満者は、糖尿病や高血圧、脂質異常症などの生活習慣病を合併していることが多く、その結果腎障害や肝障害が起こりやすく、動脈硬化が進行しているため心筋梗塞や脳梗塞などを合併しやすいので、感染に弱いと言われています。さらに、肥満者は腹腔内や皮下に大量の脂肪を蓄えているために、胸郭が膨らみにくく換気が不良であり、呼吸機能が低下するためと考えられるからです。

いずれにしても、肥満は大敵です。現在日本人でBMI30以上の肥満は260万人、BMI35以上の高度肥満は約50万人と言われています。

当院の肥満外来では、まずチームで生活習慣の改善を指導し、難治の高度肥満に対しては、入院の上、切り札の肥満外科手術を行い、患者さんの健康増進を図ります。

肥満による健康障害でお悩みの方は、当院の肥満外来を受診ください。

2021年7月19日記